

病院情報

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

■実働病床数	818床 ※令和6年11月現在	■臨床研修医数	41名(歯科含む) ※令和6年11月現在	■救急外来患者数	33.4人/日 ※令和5年4月～令和6年3月
■常勤医師数	297名 ※令和6年11月現在	■外来患者数	1,419人 ※令和5年4月～令和6年3月	■救急車搬送件数	20.1件/日 ※令和5年4月～令和6年3月
■指導医数	125名(歯科含む) ※令和6年11月現在	■入院患者数	651人 ※令和5年4月～令和6年3月		



臨床研修の理念

医療に必要不可欠な知識や技術など基本的な診療能力を習得するとともに、診療に際し患者及び医療スタッフと良好な関係を構築できる人格を涵養し、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る医師としての社会的役割を理解し実践できる。

臨床研修の基本方針

臨床に携わる全ての医師が、初期診療において必要な診断、治療上の基本的知識、技能を習得するとともに、望ましい医師としての態度を身につけることを目的とする。

臨床研修一般目標

- 各領域にわたる基本的な診療(プライマリケア)能力を身につける。
- 頻度の高い疾病や外傷の診断と治療ができる。
- 救急の初期診療を習得する。
- 患者およびその家族との信頼関係を確立できる。
- チーム医療の必要性を理解し、実践できる。
- 在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療を実践できる。
- 赤十字病院の医師として災害時における医療の提供について学ぶ。



- | | |
|-----------|---|
| 小児科プログラム | ●小児科疾患の各専門分野の診断および治療を知る。
●患児のみならずその保護者との信頼関係も築く。 |
| 産婦人科プログラム | ●産婦人科の各専門分野の診断および治療を知る。 |
| 地域医療プログラム | ●医師少数区域における医療提供体制を学ぶ。 |

病院見学のご案内

80有余年の歴史を持つ日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院の特徴は「専門科の垣根を越えた医療を実践するシステム」と「職種を越えたチームワークの良さ」です。是非、その活気あふれる医療現場を体感しに来てください。

見学可能診療科

・腎臓内科	・循環器内科	・一般・消化器外科	・呼吸器外科	・脳神経外科	・産婦人科	・病理部
・内分泌内科	・呼吸器内科	・乳腺外科	・小児外科	・形成外科	・眼科	・救急部
・血液内科	・消化器内科	・血管外科	・整形外科	・泌尿器科	・耳鼻咽喉科	・麻酔科
・脳神経内科	・小児科	・心臓血管外科	・皮膚科	・女性泌尿器科	・歯科口腔外科	・放射線科

注意事項

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| ■1 見学申込は必ず希望日の3週間前までにお願いします。 | ■4 当院には見学者用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。 |
| ■2 1日につき1診療科の見学プランを準備しています。 | ■5 病院見学の評価の一部を初期臨床研修医の選考に活用しています。 |
| ■3 夜間は原則として見学はできませんが、相談に応じます。 | 当院での臨床研修を希望する方は、必ず見学にお越しください。 |



お問い合わせ先(教育研修管理課)

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital
http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/
TEL:052-481-5111(代表)(内線54145)
kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp

見学はホームページの
申込フォームから
お申し込みください。



https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/recruit/schedule_tour/entry_tour/



@nagoya1_jrc

なかむらにつせき 病院見学

検索

JAPANESE RED CROSS NAGOYA DAIICHI HOSPITAL RESIDENTS

2026

臨床研修医募集



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital



INTERVIEW 一般プログラム

01

豊富な診療科と幅広い症例で
実り多き研修を実現

中村 花凜 Nakamura Karin 2023年 岐阜大学卒
●志望科：呼吸器内科 ●趣味：ゴルフ、映画鑑賞、絵画鑑賞

志望科や将来について じっくりと考えられる機会

必修ローテートと選択ローテートで構成されているのが一般プログラムの特徴です。内科系の必修は7診療科の中から最低6診療科を4週ごとにローテートし、外科系の必修は一般・消化器外科4週のローテートと、その他の外科系12診療科の中から最低4週のローテートを行います。比較的自由のきくローテート期間に自身の興味に沿って選択でき、そして、当院は全診療科が最前線の治療を行っています。つまり、一般プログラムは自身の将来を考え直したり、また、新たに魅力的な診療科と出会えたりする格好の機会なのです。志望科がすでに確定している方はもちろんのこと、志望科に悩んでいる方にこそぴったりだと思います。



パチカン市国に旅行した際にピエタ像をデッサンした記念写真です。



INTERVIEW 小児科プログラム

02

高水準の医療に触れて小児科医を目指す

近田 陽太 Chikada Yota 2024年 名古屋市立大学卒
●志望科：小児科 ●趣味：飲み会、おいしいものを食べること

小児科の各分野の おもしろさや奥深さを学ぶ

小児科プログラムでは、初期研修の2年間で小児科の各分野を合計12週間に上ローテートすることが可能です。様々な先生方にご指導いただけるため、各分野のおもしろさや奥深さを学ぶことができます。小児科医になるうえで必要なスキルも十分身につけることができる、とても充実したプログラムです。当院は小児科にとっても力を入れているため、どの分野でも高水準な医療に触れることができ、これは今後の自分の医師人生で貴重な経験になると感じました。志望科として小児科を少しでも考えている方はぜひ当院の小児科プログラムを検討ください。必ず良い研修医生活になるとと思います。



業務は勿論、プライベートもとても充実した研修生活が送れます！

INTERVIEW 産婦人科プログラム

03

高度な症例と専門的指導が魅力の
産婦人科研修が充実

木下 凪 Kinoshita Nagisa 2024年 山口大学卒
●志望科：産婦人科 ●趣味：サイクリング、ランニング

専門臨床の土台となる 有意義な学びの時間

産婦人科プログラムは、2年間の初期研修の中で3ヶ月間優先的に産婦人科を選択できることが特徴です。他の期間は一般プログラムと同じように各診療科をローテートし、幅広い知識を身につけることができます。先生方の指導が非常に熱心で、質問しやすい環境です。3年目以降の専門臨床への土台として有意義な時間を送ることができます。また、当院は県内でも有数の産婦人科が強い病院です。産科領域ではハイリスク妊娠の症例が集まるため母体搬送や緊急手術、胎児治療を要する症例など高度な症例を経験でき、婦人科領域では、開腹・腹腔鏡手術、化学療法、放射線治療について専門的指導を受けながら診療に参加できます。



ローテでお世話になった先生と浜名湖へサイクリングに行きました！

INTERVIEW 地域医療プログラム

04

へき地医療を担う医師を育成

五反田 航希 Gotanda Koki 2023年 自治医科大学卒
●志望科：小児科 ●趣味：音楽、旅行

ファーストタッチから 退院まで経験できる

地域医療プログラムでは、2年次に3ヶ月間医師少数区域で研修をします。私は新城市民病院の総合診療科に所属して、初診の一般内科外来の担当や病棟回診、救急車対応を行いました。総合診療科全体のカンファレンスでは、その日担当した症例を毎日発表し、他の先生方が経験された症例からも学ぶことができます。このプログラムの魅力は、他分野にわたる訴えを持つ患者さんへのファーストタッチから、その患者さんが入院した場合には退院まで一続きで診療するという経験ができることです。研修期間が長いので、ファーストタッチした患者さんの2～4週間後の外来フォローまで携わることができます。



研修医2年目に同期と、念願だった北南米旅行に行ってきました。写真はマチュピチュです！





INTERVIEW 05 歯科プログラム

口腔外科医に必要な知識と
技術を総合的に学ぶ

田中 佑樹 Tanaka Yuki 2022年 昭和大学卒
●志望科: 歯科口腔外科 ●趣味: サウナ、水泳

口腔外科医に必要な 隣接医学の知識を深められる

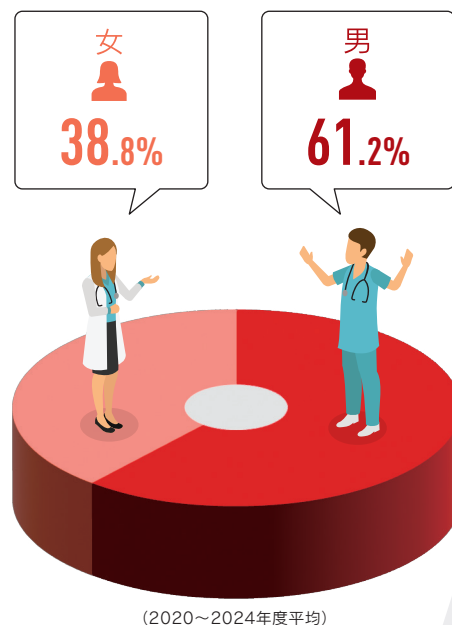
歯科プログラムでは、口腔外科での手術、小手術、病棟管理の研修に加え、隣接医学研修として口腔外科に関連する診療科および病理部での研修や、術中全身管理を行うため麻酔科での研修も行います。口腔外科医に必要な隣接医学についての知識を深めることが可能です。歯科プログラムの魅力は、悪性腫瘍、良性腫瘍、先天性疾患をはじめ幅広く多くの症例を経験できること。指導医も多く在籍しており細かな疑問点にも親身に指導していただきます。実際に治療を行う際には歯科領域以外の知識が必要なが多々ありますので、隣接医学研修は日々の診察にも多く活かしています。



同期とサウナに行きがてら、鰻の蒲焼を作りました！いつも支え合える同期は大切な仲間です！

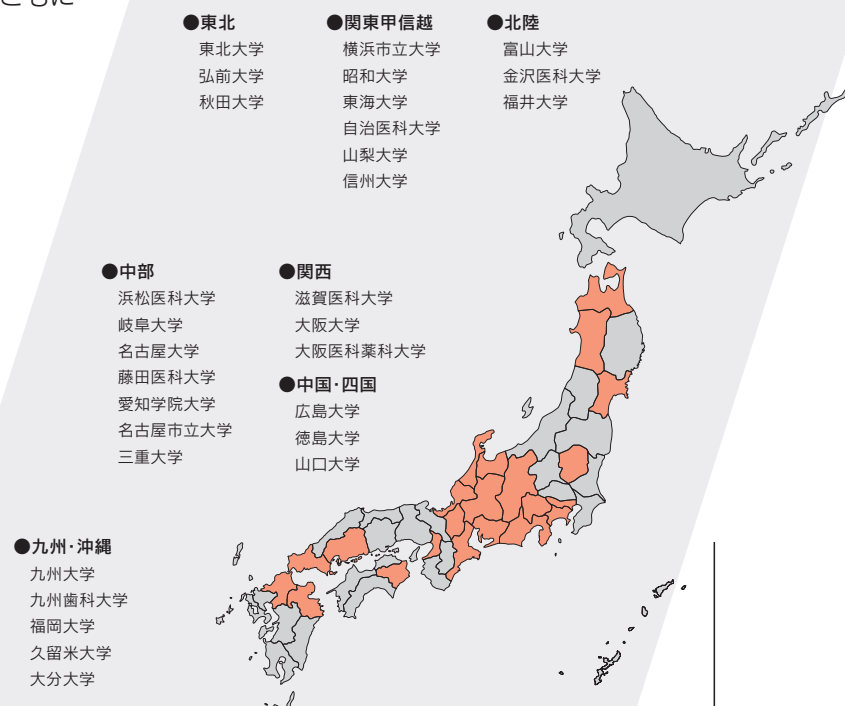
研修医の男女比

当院では研修医の男女比に大差なく、男女ともに多くの先輩や同期と出会える環境です。



(2020～2024年度平均)

研修医の出身大学 (2020～2024年度実績)



2年間の臨床研修カリキュラム

必修・選択必修以外は自由選択！個々のニーズに合わせた研修を組み立てることができます。

内科系分野 24週	外科系分野 8週	その他必修 36週
下記7診療科から 6診療科を選択 してローテート (内科領域専攻予定者は全科)	[必須] 一般・消化器外科 :4週 [選択] 下記診療科から4週	救急 (ICU含む):12週 麻酔科:4週 小児科:4週 産婦人科:4週 一般外来:4週 地域医療:4週 精神科:4週 在宅医療:1日
消化器内科、呼吸器内科、 循環器内科、腎臓内科、 内分泌内科、脳神経内科、 血液内科	一般・消化器外科、乳腺外科、血管外科、 小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、 整形外科、脳神経外科、眼科、 耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、 泌尿器科 (腎泌尿器内視鏡外科、女性泌尿器科含む)	



プログラム別必修分野

小児科プログラム	産婦人科プログラム	地域医療プログラム
小児科 (サブスペシャリティ領域含む):12週	産婦人科 (サブスペシャリティ領域含む):12週	地域医療・一般外来 (外部研修):8週

残りの枠は自由選択！個々のニーズに合わせた研修を組み立てることができます。

診療科別 指導医の人数 (令和6年11月1日現在)

多彩な診療科が揃う当院には、多くの指導医が在席。
手厚い指導を受けられます。※指導医は指導医講習会を受講済です。

総勢 125名

腎臓内科	3名	小児科	16名	リハビリテーション科	1名	緩和ケア科	1名
内分泌内科	2名	一般・消化器外科	7名	脳神経外科	3名	化学療法内科	1名
血液内科	3名	乳腺外科	3名	皮膚科	1名	放射線科	4名
総合診療科	1名	血管外科	2名	泌尿器科	3名	歯科口腔外科	3名
脳神経内科	3名	心臓血管外科	3名	女性泌尿器科	1名	病理部	2名
循環器内科	4名	呼吸器外科	5名	産婦人科	9名	救急部	3名
呼吸器内科	6名	小児外科	2名	眼科	1名	健診部	1名
消化器内科	6名	形成外科	1名	耳鼻咽喉科	3名	検査部	1名
精神科	3名	整形外科	6名	麻酔科	11名		

メンター制度

指導医資格を持つ医師がメンターとなり、2ヶ月に1回の面談を通して研修の進捗状況や進路選択について助言を行い、研修生活をサポートします。メンターとなる医師は研修医自身で選択することができます。



TODAY schedule

一般・消化器外科
研修医の一日



大木 有佳 Oki Yuka
2024年 名古屋大学卒
●志望科:血液内科
●趣味:ピアノ

幅広い症例や手技を経験し 患者さんやスタッフに 信頼される医師を目指す

研修医1年目は、各科ローテートに加え、総合内科の予診や院内の造影ルート確保を行う当番があり、献血バスの問診等も行います。やりがいを感じるのは、様々な科で得た経験を臨床の場で活かした瞬間です。幅広い症例や手技を積極的に経験し、患者さんや一緒に働く方々に信頼される医師を目指します。



研修医同期との飲み会の様子です。同期は出身大学問わず仲良しです！

6:30 起床

8:00 症例カンファレンス

若手を中心に、新規入院患者の情報や前日の手術症例を外科全体で共有し、治療方針の検討や振り返りを行います。

8:30 モーニングカンファレンス

毎朝、診療科の先生方が各科救急疾患で身につけるべき知識を簡潔に教えてくださいます。
また、毎週月曜は研修医の経験した救急症例の発表、検討を行います。

10:00 病棟回診

毎日患者さんの元へ回診に行き、処置や体調変化の観察を行います。1人の研修医に1人の指導医がつくオープン制をとっており、病棟での診察の仕方や治療、検査の進め方を直接学ぶことができます。

12:00 医局

休憩中は研修医室で昼食を摂ったり同期と雑談をしたりします。待機中は貸し出しの針糸を用いて縫合や結紮の手技練習を行うこともあります。

13:00 昼食

15:00 手術助手

第2助手として手術に参加し、主に腹腔鏡のカメラ持ちをはじめとした視野確保を行います。上級医のご指導の下、CV挿入などの手技をさせていただくこともあります。

17:00 消化器合同カンファレンス

18:00 術前症例カンファレンス

19:00 帰宅

帰宅後は同期や上級医の先生方と食事に行くこともあります。名古屋駅へのアクセスが良く、休日はいろいろな場所に遊びに行きやすいところも魅力的です。

1年次ローテート

4月	オリエンテーション/呼吸器内科
5月	呼吸器内科/消化器内科
6月	消化器内科/麻酔科
7月	麻酔科/乳腺外科
8月	乳腺外科/血液内科
9月	小児科/内分泌内科
10月	内分泌内科/整形外科
11月	整形外科/泌尿器科/一般・消化器外科
12月	一般・消化器外科/救急部
1月	救急部
2月	地域医療・一般外来(外部)
3月	化学療法内科/産婦人科



▲注射当番



▲内科総合



豊富な勉強会・行事

当院では日々の研修に加え豊富な勉強会を用意し、充実した学びの場を整えています。院内外の講師による多彩なプログラムが皆さんの学びをより豊かなものにします。また、勉強会に限らず、1年次生が計画から運営、撤収まで全てを行い院内の職員をもてなす「もちつき大会」のほか、「総合医局新年会」といった行事も催行されており、医師や他職種の職員との交流を深める機会もあります。こうした豊富なプログラムを通して有意義な2年間を過ごし、進路をじっくり見極めてください。

● モーニングカンファレンス

平日毎朝開催



● コアレクチャー

毎週金曜日開催



当院の職員や外部講師を招聘しての勉強会を1時間ほど開催しています。
※毎月第4金曜日は剖検症例について研修医が剖検所見を発表し指導を受けるCPCが行われます。

● 大規模災害訓練

年1回開催



大規模災害発生時を想定した訓練が実施されます。患者役や救護エリアの医師役といった役割を経験し、訓練を通して災害発生時における初動対応や地域中核災害拠点病院としての役割などを理解します。

主な勉強会の一例

- 医療安全研修会(年2回)
- 感染対策研修会(年2回)
- 倫理講演会
- ACP勉強会
- 緩和ケア研修会
- ICLS

救急外来で経験する症例について、各診療科の医師が講義を行っています。早起きは大変ですが、診療スキルを磨くための重要な勉強会であるため、欠かさず出席することが大切です。

● 月間予定表

	月	火	水	木	金
第1週目	救急部	泌尿器科	放射線科	一般・消化器外科	呼吸器内科
第2週目	救急部	脳神経内科	小児科	総合診療科	消化器内科
第3週目	救急部	整形外科		消化器内科	脳神経外科
第4週目	救急部	産婦人科	小児科	循環器内科	脳神経内科
第5週目	救急部	※	※	※	※

※下記講義などを予定
造影剤・薬剤の禁忌情報・薬剤疑義照会……年3回(6月、11月、3月頃)を予定、
腎臓内科……年3回を予定、内分泌内科……年約2~3回を予定、
血液内科……年約2~3回を予定、R1による症例共有

● 技術研修

年1回開催



年に1度、シミュレーターを用いて基本的手技の実習や救急の現場を想定したシミュレーション等を実施します。
(2024年度に行ったもの)CVカテーテル挿入・骨髄内輸液・胸腔ドレナージ・
腰椎穿刺・皮膚縫合・ワークショップ・シナリオシミュレーション

● もちつき大会

年1回開催



日頃の研修生活を支える職員たちをもてなす新年最初の行事で、1年次の研修医が企画段階から創り上げます。つきたての餅が振る舞われ、職員一同が楽しみにしています。

TODAY schedule

消化器内科
研修医の一日



服部 陽介 Hattori Yosuke
2023年 名古屋大学卒
●志望科: 消化器内科
●趣味: ゴルフ

一人前の医師に なることを目標に 学び続けたい

内視鏡でスクリーニングから根治療法までで
きるところに良さを感じ、消化器内科を志望し
ました。研修では、わからないことをすぐに調
べたり聞いたりすることを心がけています。一
人前の医師になることを目標に、しっかりと勉
強して成長しながら、後輩にも指導できるよう
なっていきたいです。



Private

有給を同期と合わせて南米旅行に行ったときの写真
です。有給も取得しやすいです！

6:30 起床

7:30 病棟回診

担当している患者さんのところを回って、必要なオーダーなどを
考えて日中に先生と相談します。

9:00 内視鏡検査見学

12:00 昼食

研修医の同期と仲良くご飯を食べます。
楽しい話も嫌な話も何でも話せる同期は最高です。

14:00 救急対応

15:00 内視鏡検査見学

消化器内科といえばやっぱり内視鏡！
見学時に体験させてもらえるチャンスがあることも。

17:00 消化器合同カンファレンス

担当患者さんを発表します。
画像の見方なども優しく教えてください。

18:00 診療科カンファレンス

19:00 帰宅

ほぼ定時で帰れるので夜は名駅などで友達と楽しくご飯を食べます。
有給が取りやすいので旅行をすることもあります。

1年次ローテート

4月	オリエンテーション/救急部
5月	救急部/循環器内科
6月	循環器内科/産婦人科
7月	産婦人科/内分泌内科
8月	血液内科
9月	血液内科/脳神経内科
10月	小児科/一般・消化器外科
11月	一般・消化器外科
12月	一般・消化器外科/消化器内科
1月	消化器内科/呼吸器内科
2月	呼吸器内科
3月	呼吸器内科/麻酔科

2年次ローテート

4月	麻酔科/内分泌内科
5月	内分泌内科/地域医療・一般外来(外部)
6月	地域医療・一般外来(外部)/眼科/精神科(外部)
7月	精神科(院内)/皮膚科/救急部
8月	救急部/消化器内科
9月	消化器内科
10月	腎臓内科
11月	腎臓内科/化学療法内科/病理部
12月	内科総合/脳神経内科
1月	ICU/救急部
2月	救急部
3月	消化器内科



救急について

勤務体制について

救急外来では主にR1がwalk in患者、R2が救急車で搬送された患者の初期対応を行います。当院は三次救急病院であり、
軽症～重症まで様々な疾患を持った患者が搬送されます。通常の外来診察と異なり、より緊迫した雰囲気の中でスピード感
を持った対応が求められるため、慣れないうちは大変なことも多いですが、年次の近い上級医がいるため、困ったときは迷
わず相談しながら多くの経験を積み、成長を重ねていってください。

R1 **2名** R2 **2名** 専攻医 **1名**
(3年次)

休日・夜間勤務回数

平均 **4回/月**



●救急搬送件数

(令和4年度)

救急車	時間内	2,265件
	時間外	5,439件
Walk in	時間内	1,880件
	時間外	6,513件

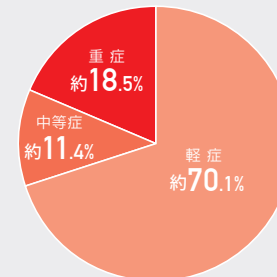
(令和5年度)

救急車	時間内	2,093件
	時間外	5,250件
Walk in	時間内	2,140件
	時間外	8,485件

●経験症例数 (令和2年度生～令和4年度生実績より算出)

R1で経験できる症例数の平均 **約272件**

R2で経験できる症例数の平均 **約390件**



(2年間で経験できる症例の重症度別割合)



専門研修プログラム(基本領域)

初期臨床研修を修了した8割近くの研修医は、引き続き当院での専門研修
に進みます。当院が基幹プログラムを有する6領域以外では、主に名古屋大
学医学部附属病院プログラムの連携施設となっており、専門医取得・更新
に必要な講習を院内で開催するなど病院全体で専門研修をサポートして
います。また、専門医資格取得からSubspeciality領域の専門研修へと連続
的な研修が可能となるように配慮しています。

初期研修(2年間)	▶	専門研修(3年間)	●基幹プログラム ●連携プログラム	いずれか
-----------	---	-----------	----------------------	------

専攻医在籍状況

●基幹プログラム

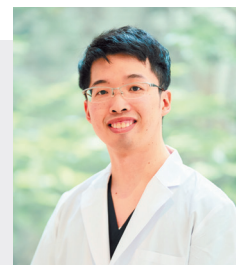
診療科	専攻医
内科	32人
小児科	6人
外科	8人
産婦人科	11人
病理部	2人
救急科	0人

●連携プログラム

診療科	専攻医	診療科	専攻医
皮膚科	2人	脳神経外科	0人
精神科	0人	放射線科	2人
整形外科	0人	麻酔科	4人
眼科	1人	形成外科	1人
耳鼻咽喉科	1人		
泌尿器科	3人		

(令和6年11月現在)

(令和6年11月現在)



河本 知大 Komoto Tomohiro
2022年 徳島大学卒

INTERVIEW

専攻医インタビュー

“自分自身で方針決定する経験”が活きてくる

同期たちと時には切磋琢磨し、時には飲み会や旅行もしながら非常に充実した初期研修生活
を送りました。当院の魅力は、各領域におけるエキスパートから親しみやすく教育熱心な若手
まで多数の先生方が在籍する幅広い科が揃っており、ローテートを通して気軽に相談できると
ころです。また、上席医のバックアップはありながらも、自分自身の診察・診断をもって方針決定
を行えるため、そこでの経験は現在の専攻医としての診療に活きていると思います。



CROSSTALK 研修医トーク

仲間とともに成長する 充実の2年間



—— 当院を選んだ決め手は？

山下：当院には幅広い診療科があり、いろんな経験が積めそうだったことが一番の決め手です。

伊藤：同じく、各科が揃っている大きな病院というところが決め手でした。志望科が決まっていなかったなので、研修しながら決めていけたらと思っていました。

—— 研修生活はどうか？

小椋：忙しいときもありますが、同期と支え合いながら頑張っています。日々楽しく過ごしていますね。

山下：わかります！初めて夜勤を経験するなど、慣れないことも多いのですが、同期がいるので楽しく働いています。

伊藤：わたしも同じです。毎日が充実していますし、成長している実感もあります。同期と教え合えるような環境があるのが大きいなと思います。また、先生方が実施してくださる毎朝20分間の勉強会や金曜日の夕方の勉強会はとてありがたいです。

佐々木：私も、最初の頃は仕事も医学のことわからないことが多かったのですが、先輩や上級医の先生にいろいろと教わってできることが増えてきたなと感じています。

—— 同期や先輩たちとの関係は？

佐々木：病院全体に「みんなで研修医に教



えよう」という雰囲気があり、熱心に教えてくれたり質問したことには全部答えてくれたりする先輩が多いなと感じています。安心して研修できていますね。

小椋：優しく教えてくださる先輩が多いですね。先輩の方から積極的に話しかけてくださるので助かりますし、気軽に相談しやすい雰囲気があります。

伊藤：指導医の先生だけでなくほかの先生方も話しかけてくれますよね。ローテーション研修中にいろんな先生と話せることで、その科の雰囲気がわかるのがいいなと思います。

山下：先輩はいろんなことを教えてくださるのでありがたいです。プライベートで飲み会をすることもあり、先輩のおか



地域医療プログラム [R1]
伊藤 みなみ Ito Minami
2024年 自治医科大学卒
●志望科：消化器内科
●趣味：舞台鑑賞



一般プログラム [R1]
佐々木 勇杜 Sasaki Yuto
2024年 東北大学卒
●志望科：小児科
●趣味：ランニング、筋トレ

小椋：私は病院見学をした際に、当院なら上級医から丁寧な指導が受けられそうだなと思い選びました。実際に入職すると、優しい先輩や上級医と一緒に働くことができ、ここを選んで良かったなと思いました。

佐々木：私は通いやすさがポイントのひとつでした。ほかには皆さんが言われているようにいろんな科があることで進路も考えやすく、先輩や上級医の先生からのフィードバックも受けられそうだなというところが決め手でした。

2024
最優秀
研修医

2024年度 最優秀研修医からのメッセージ



孫 思佳 Son Shika
2023年 名古屋大学卒

医師としても人としても 成長できる環境がある

病院全体で、初期臨床研修医を教育面だけでなく人間的な一面においても育成するという温かい雰囲気があります。そのため、ローテート先の先生方だけでなく、様々な専門職の方々にもお世話になる機会が多く、皆様のおかげでとても素敵で貴重な2年間を過ごすことができました。職員として精一杯尽力できるように精進しながら、皆様が当院に研修にいらっしやることを楽しみにお待ちしております。

2024
最優秀
指導医

2024年度 最優秀指導医からのメッセージ



宮川 慶 Miyagawa Kei
三重大学卒 総合診療科副部長

たくさんの仲間たちと 当院で一緒に学びましょう

当科の外来研修では、私が毎日問診の取り方、診察の仕方、臨床推論など丁寧に指導していきます。進路相談、研修生活の悩み相談、雑談などもよくするので楽しくやっています。「バリバリ働きたい」「仕事と遊びを両立したい」「やりたいことも進路も全然決まっていない」など、どんな方にも当院はおすすめです。毎年22名の研修医がいますので、仲間もたくさん！ぜひ当院と一緒に学びましょう。

げで日々が充実しています。

伊藤：同期同士も仲が良かったですし、先輩とも仲が良い人が多いですね。私も先輩とプライベートで仲良くさせてもらっていて、仕事でも話しやすいです。

—— 休日の過ごし方を教えてください

山下：私は友人と旅行をしたり、映画を観に行ったりしてアクティブに過ごしています。

伊藤：私も出かけることが多いです。名古屋は東京や大阪へのアクセスがいいのでよく県外にも足を伸ばしています。土日にしっかりと自分の時間が取れるので、平日は仕事を頑張ろう！と思えますし、気持ちの切り替えができるのがいいなと思います。

小椋：当院は有給休暇が取りやすいのがいいですね。私は土日や有給休暇を活用して旅行をしたりゆっくり休んだりしています。

佐々木：当直明けはしっかり休めますし、有給休暇が取りやすいのはありがたいですね。トータルの休みが多いなと思います。私はランニングや筋トレが趣味なので、そういった時間が作れているのが嬉しいです。同期や先輩を見ていると趣味を持っている人が多く、趣味を続けやすい環境なのだなと感じました。

—— アピールしたい当院の魅力は？

小椋：当院は名古屋駅から近いので、交通の便や周囲の環境がいいところが気に入っています。仕事帰りにご飯を食べに行くこともありますね。

山下：私は、同期が1学年で約20人、2学年で約40人と多く、わきあいあいと楽しく研修できるところが魅力だと感じています。いろんな出来事を共有できるのも嬉しいですね。

佐々木：私も、同期が多いのはいいなと思



一般プログラム [R2]
山下 恵子 Yamashita Keiko
2023年 広島大学卒
●志望科：産婦人科
●趣味：旅行

じます。研修中は大変なこともあります。同期と共有したり話し合ったりすることで乗り越えることができます。研修医専用の研修医室が用意されていて、空き時間などにそこで同期と話せるので心強いです。

伊藤：私は研修のローテーションを自由に組めるところが魅力だと思います。やりたいことにチャレンジしやすいのもいいなと感じますし、自分に合う科を見つけることにもつながります。

山下：皆さんが言われたように、環境がよく、仲間もいて、フレキシブルな研修ができるので、とても快適に学んでいると感じます。研修先を検討中の方には、ぜひ当院をおすすめしたいです。



一般プログラム [R2]
小椋 陽介 Ogura Yosuke
2023年 名古屋大学卒
●志望科：脳神経内科
●趣味：散歩